JAYC 2017
留学生調査発表

ツェン シュージェー オスティン

自己紹介

- シンガポール出身・2012年来日
- 2017年度、東京大学教養学部卒

- （株）VISITS WORKS – アナリスト
- JAPI留学生DBチームリーダー
  - 2016年留学生調査担当・発表者
- 国費留学生連合会 副会長
- 元在日本シンガポール留学生協会副会長

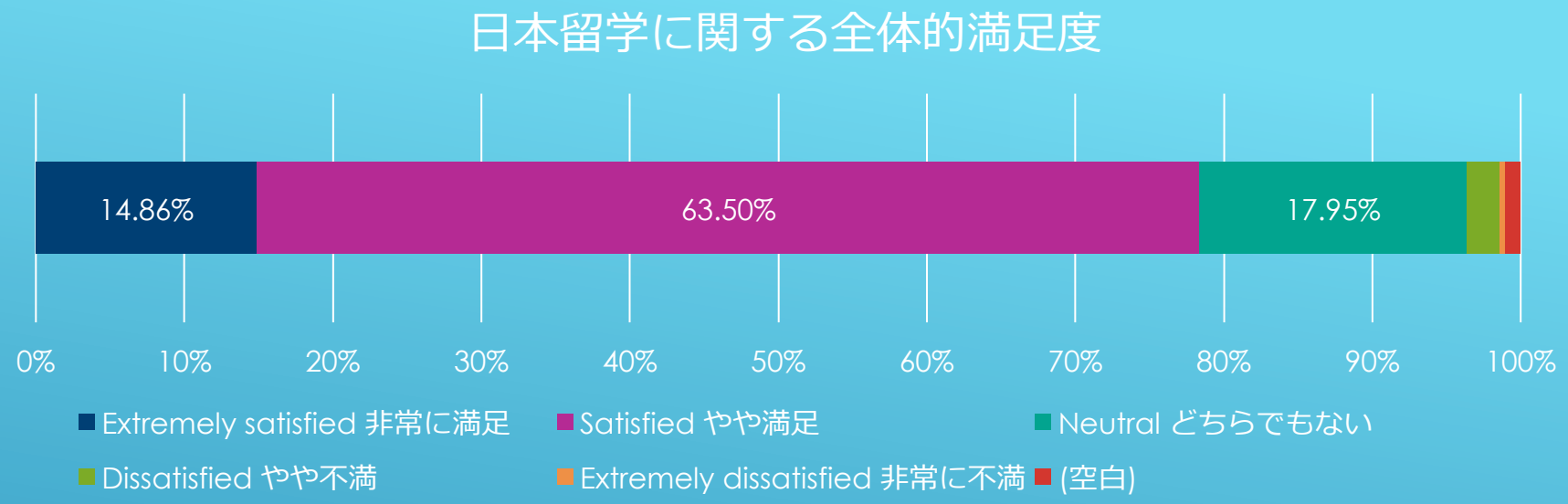
本日の内容

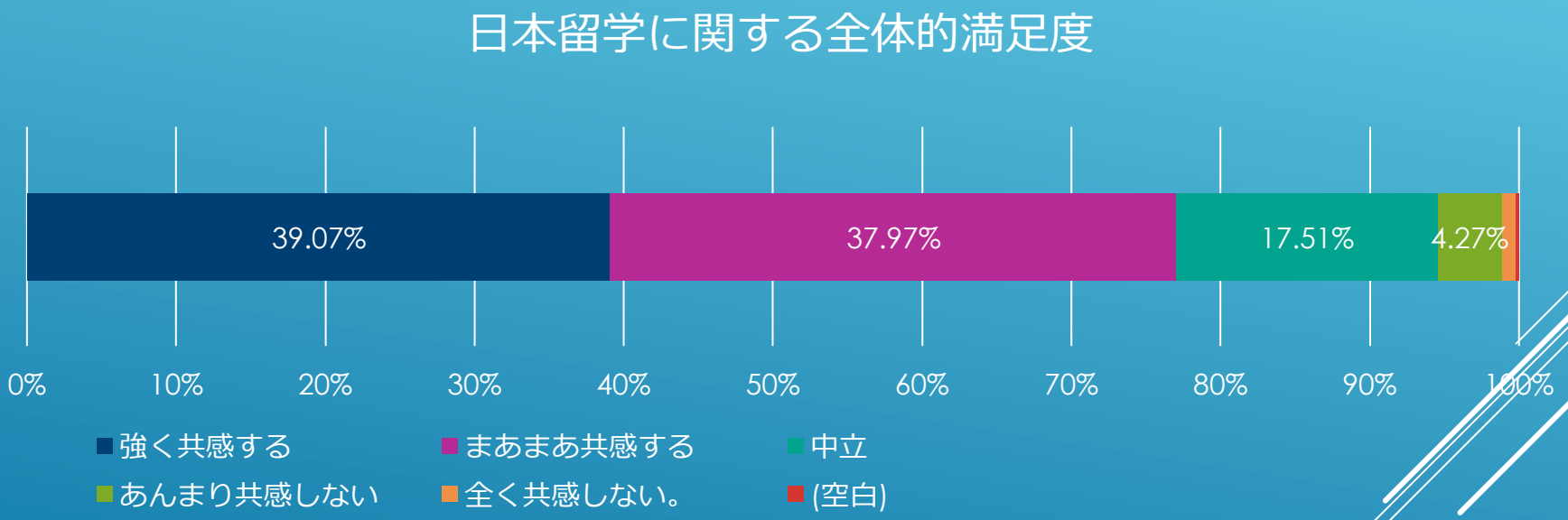
1. 目的説明
2. 調査大枠
3. 回答の概要
4. 分析
5. 終わりに

今まで**体験談レベル**しか
話が進まなかった
留学生にまつわる事情を
データ化することで

日本、日本にある学校そして留学生にとって
共通利益になる対策制定を可能化

目的


日本留学に関する全体的満足度
14.86%
63.50%
17.95%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
Extremely satisfied 非常に満足
Satisfied やや満足
Neutral どちらでもない
Dissatisfied やや不満
Extremely dissatisfied 非常に不満
(空白)


日本留学に関する全体的満足度
39.07%
37.97%
17.51%
4.27%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
強く共感する
まあまあ共感する
中立
あんまり共感しない
全く共感しない。
(空白)

非常に高い満足度

①高い満足度を踏まえ、増やす誘致方法は？

②来てからの満足度をさらに高めるための対策は？

③卒業してから日本・留学生個人の共通利益になるキャリアをいかにして可能にするか？

問題提起

調査大枠

拡散方法

- インターネット調査
  - 一部紙媒体
- 対象：直近５年間で日本に１ヶ月以上の留学をした　ことがある人
- 拡散：留学生協会、学校など
- 期間：12月初旬ー２月半ば

協力組織

留学生団体

- 国費留学生連合会
- 上智大学韓国人留学生会
- 上智大学中国留学生会
- 在日カンボジア留学生協会
- 在日シンガポール留学生協会
- 在日タイ留学生協会
- 在日フィリピン留学生協会
- 在日ベトナム学生青年協会

学校法人

- 赤門会日本語学校
- 亜細亜大学
- 京都精華大学
- 芝浦工業大学
- 千葉大学
- 東京外国語大学
- 東京工業大学
- 一橋大学
- 文化学園大学
- 横浜国立大学
- 立命館アジア太平洋大学

その他

- 一般社団法人NAP

去年からの進展

昨年度

- 留学生の「全体像」に注目
- 「日本への留学」が話題
  - 学校名は取っていない
- 英語で勉学する留学生と日本語で勉学する留学生が混合
- 英日のみ

今年度

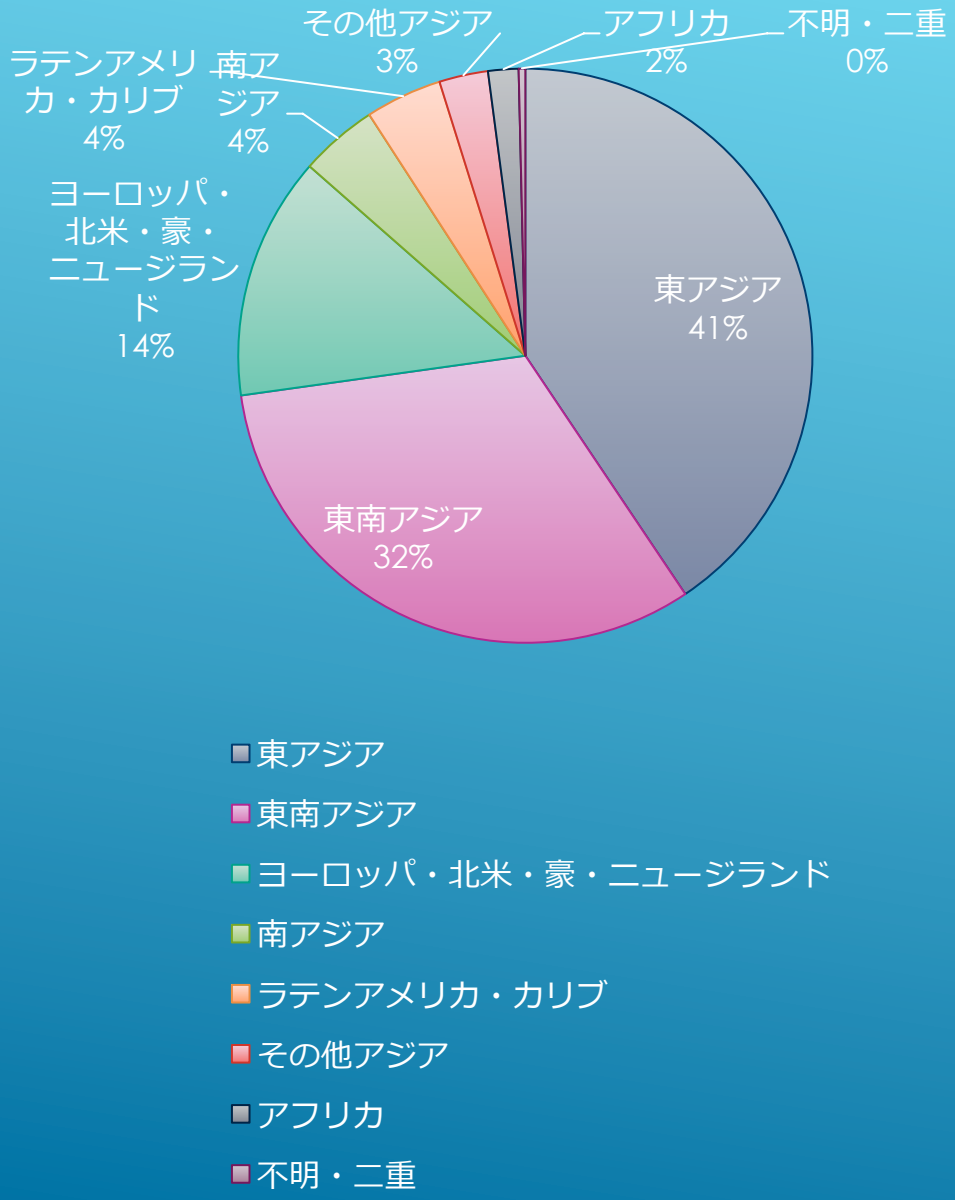
- 各グループに分解し分析
- 在籍している学校が中心
  - 学校名も聞いた
- 教育の言語のデータを取り、適切の箇所に分析に入れる
- 英日に加え、中国語、ベトナム語でも実施

全部で1346有効回答

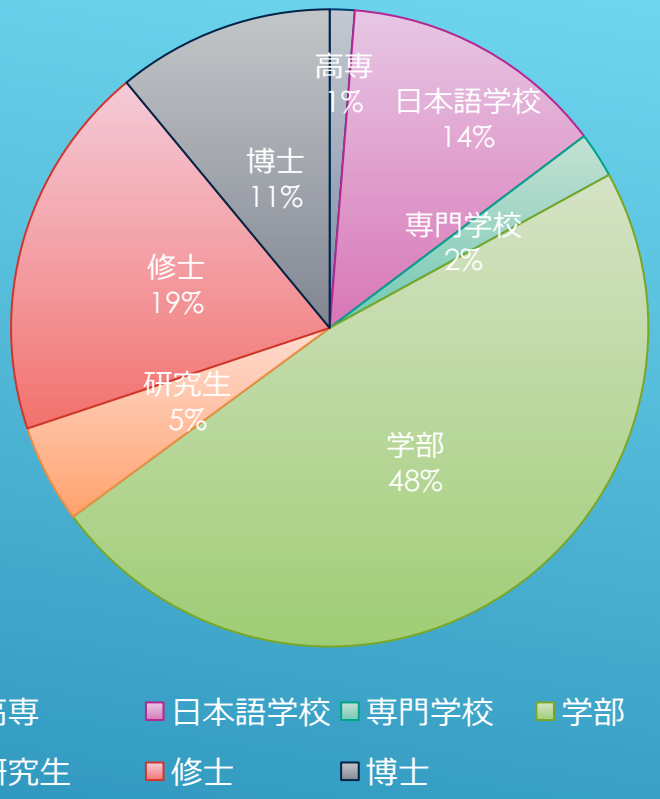
（去年比で約50%増）

回答人数

地域


その他アジア
3%
アフリカ
2%
不明・二重
0%
ラテンアメリカ・カリブ
4%
南アジア
4%
ヨーロッパ・北米・豪・ニュージランド
14%
東アジア
41%
東南アジア
32%
東アジア
東南アジア
ヨーロッパ・北米・豪・ニュージランド
南アジア
ラテンアメリカ・カリブ
その他アジア
アフリカ
不明・二重

教育段階


高専
1%
日本語学校
14%
博士
11%
専門学校
2%
修士
19%
研究生
5%
学部
48%
高専
日本語学校
専門学校
学部
研究生
修士
博士

回答者が多かった大学 (TOP 10)

国籍	有効回答人数
上智大学	128
東京大学	104
立命館アジア太平洋大学	90
東京工業大学	82
早稲田大学	76
亜細亜大学	73
芝浦工業大学	64
赤門会日本語学校	53
宇都宮大学	47
大阪大学	45

分析

体制

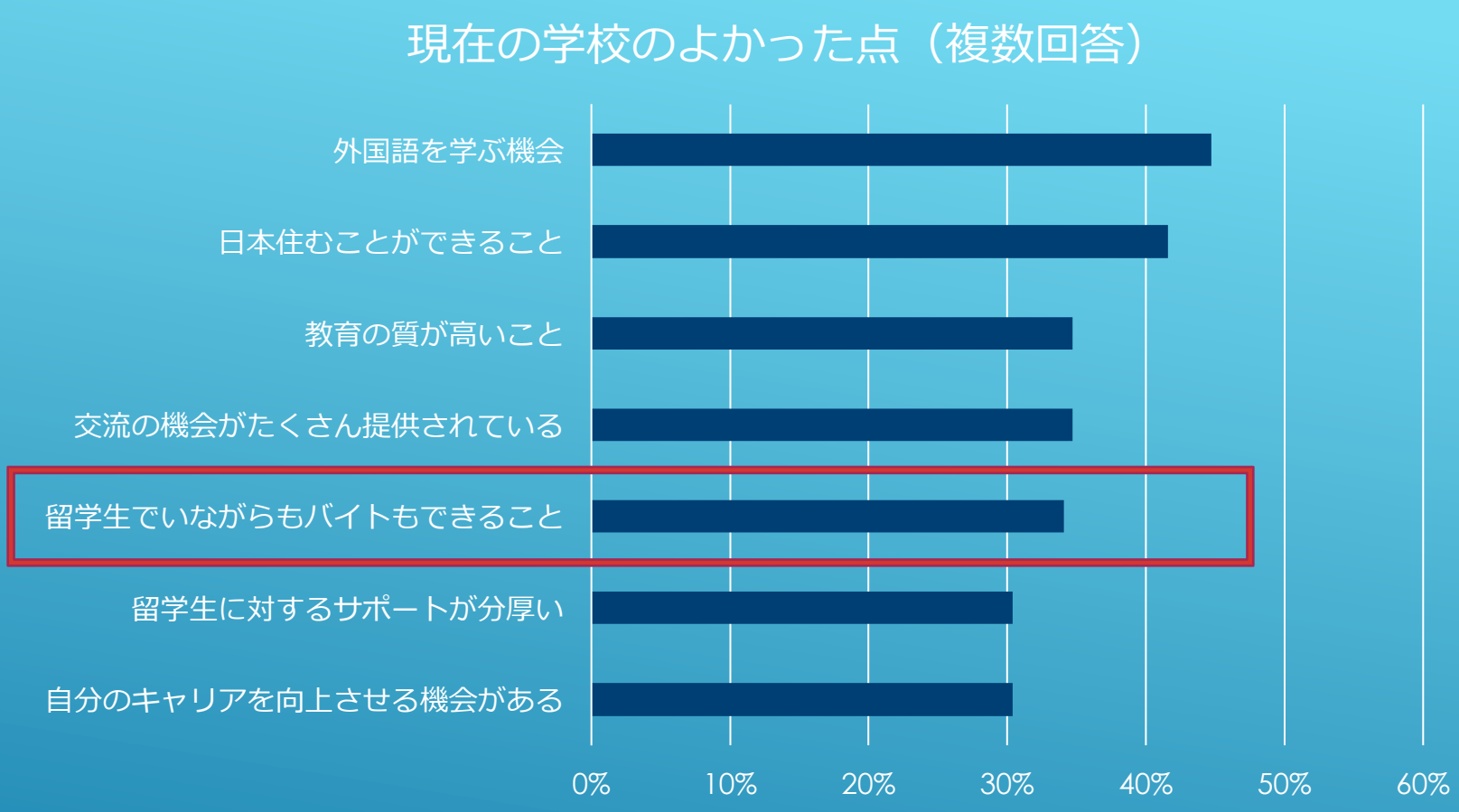
- **日本語学校：安星**
  - 上智3年、前はメロス言語学院・中国
- **学部（日）：ヤン ヒヨン**
  - 上智3年・韓国
- **学部（英）：テン　シャオ　シュエン**
  - 早稲田2年・シンガポール
- **大学院：ブ　フォントゥイ**
  - 早稲田大学経済研究科・ベトナム
- **交換留学生：小林さくら**
  - 東大3年・日本・東大文学部で留学生支援活動に取り組み
- **全体・キャリア：ツエン シュージエー オスティン**
  - 東大29年卒・シンガポール

ここで紹介できることは一部のみ

後ほど速報とふるレポートを送付します

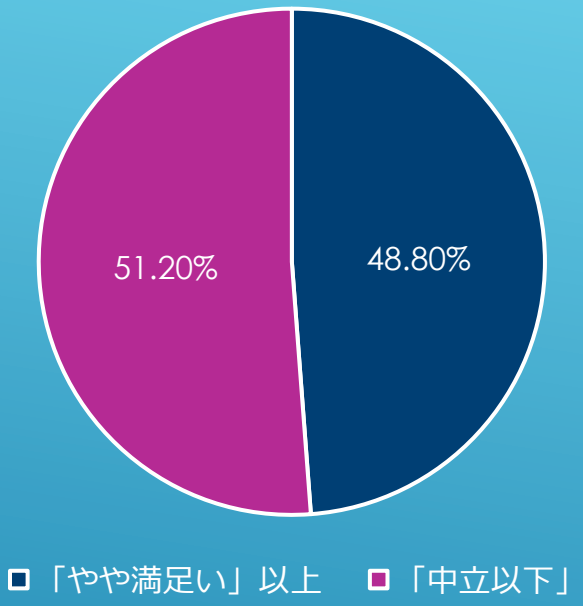
＊サンプルに注意

日本語学校

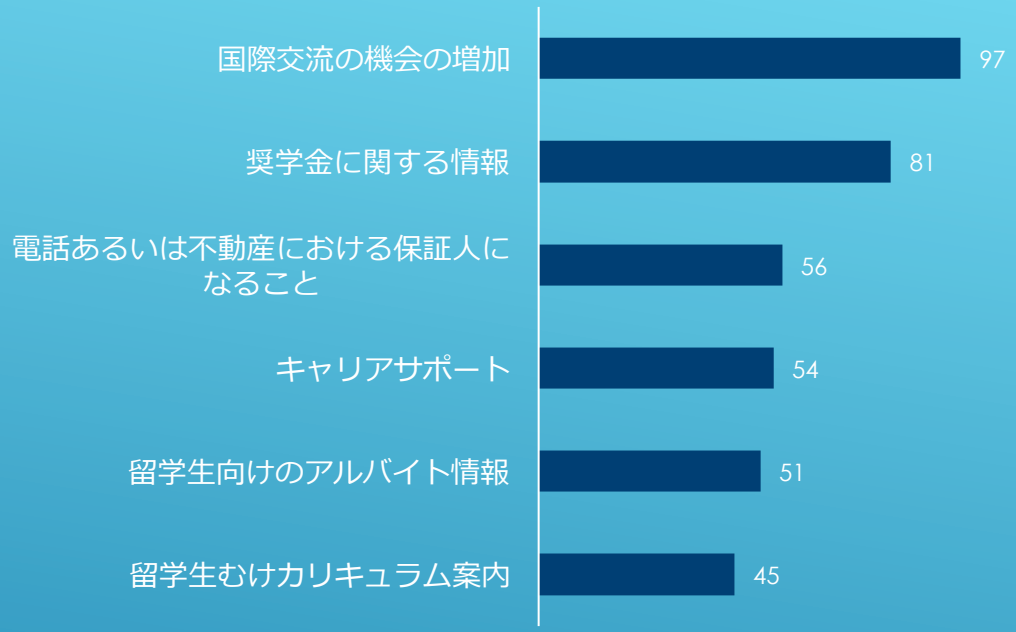


来日の目当てはバイト代稼ぎではない

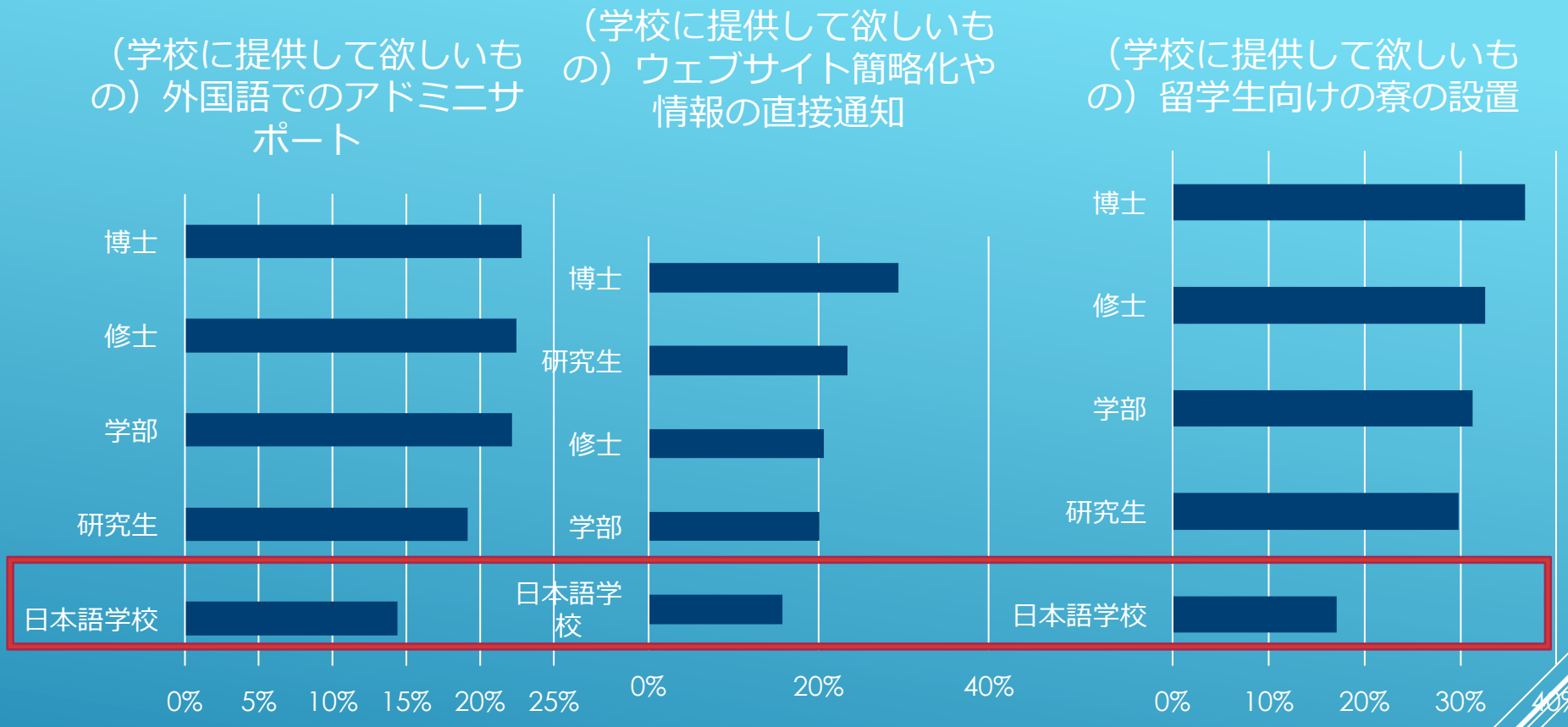
日本における人との付き合いに対する満足度



学校にやっていただきたいこと（複数）、TOP 6、187人中



外国語でのサポート体制に関して大学などが参考したほうがいい



外国語でのサポート体制に関して大学などが参考したほうがいい

学部

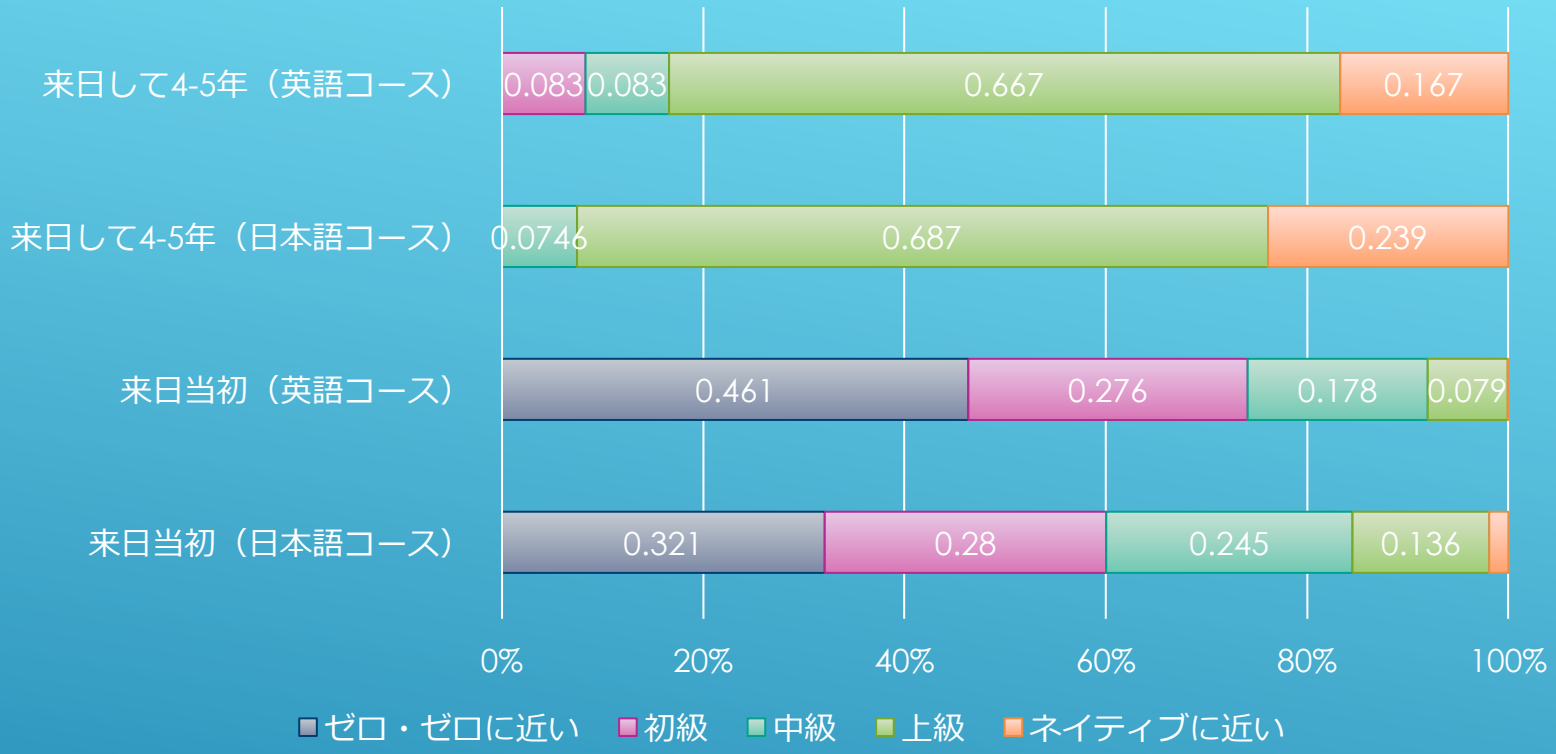
属性で見ると

日本語で教育

- 東アジア出身が過半数
- 一人暮らし過半数
- 私費が多い
- 上智・文化学園・亜細亜大・阪大・東大に広い分布

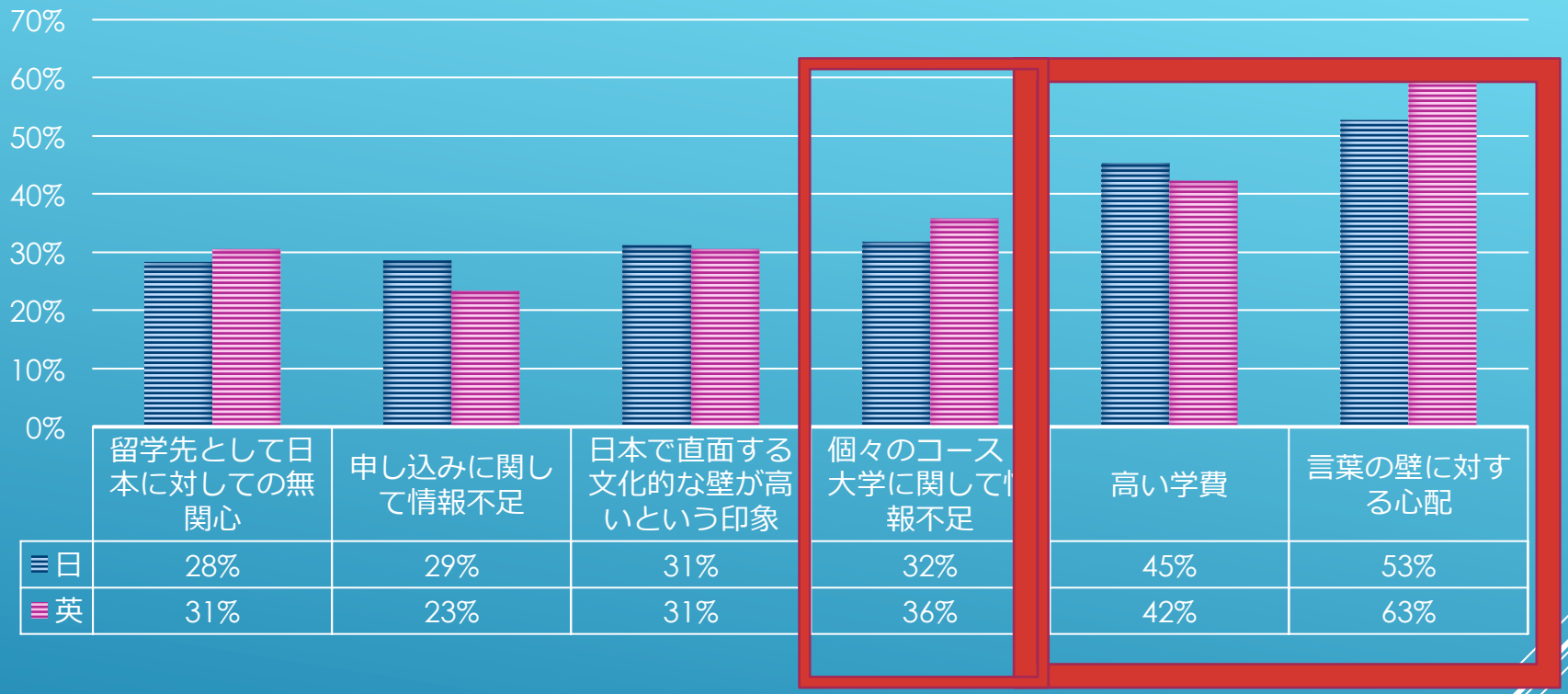
英語で教育

- 東南アジア・欧米がより多い
- 一人暮らし2割強、寮3割弱
- 奨学金需給率高め
- APU・早稲田・東大に集中



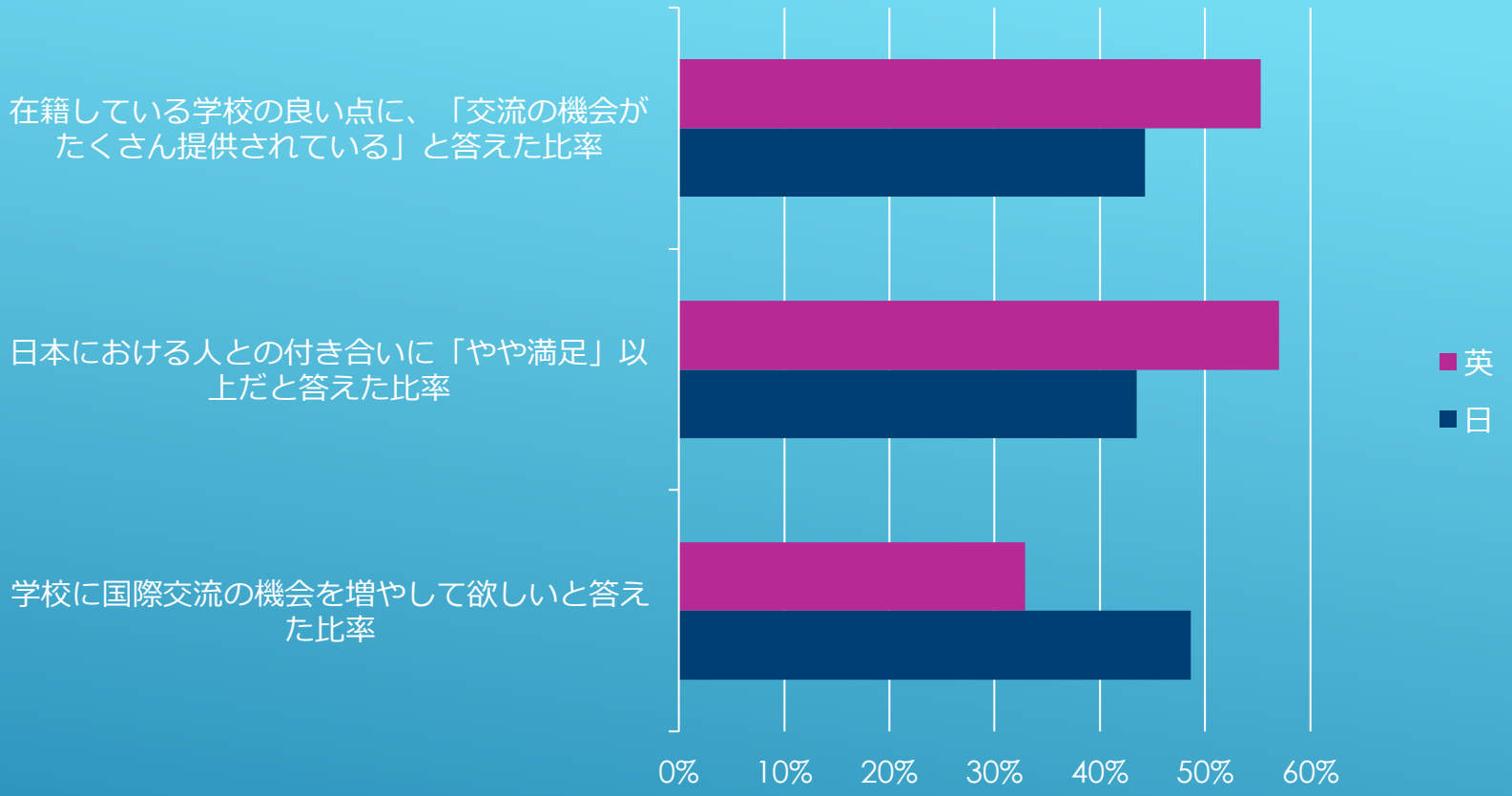
英語コースの人でも英語習得が順調

あなたに取って、留学生にあなたの学校への留学を妨げている理由はどれですか？

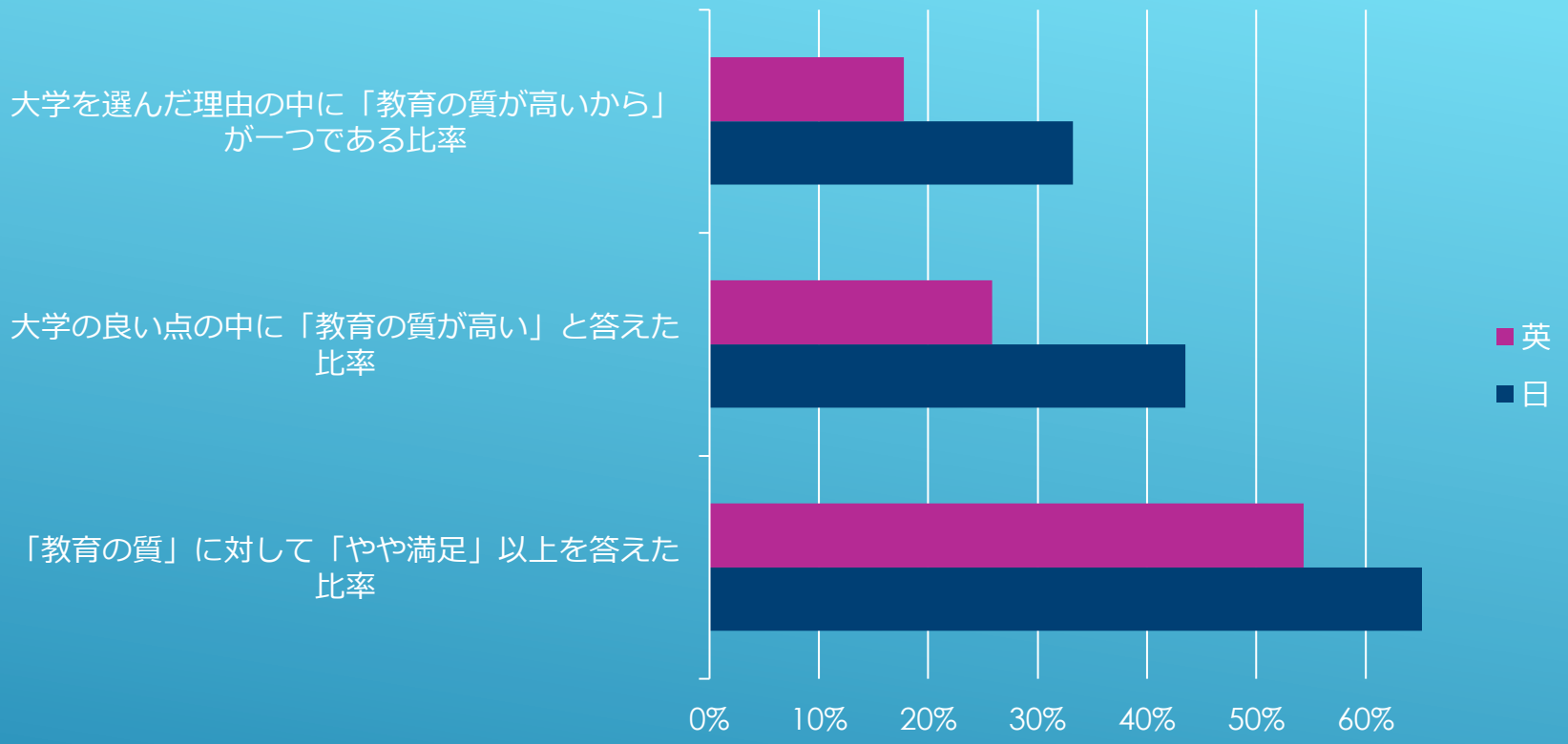


	留学先として日本に対しての無関心	申し込みに関して情報不足	日本で直面する文化的な壁が高いという印象	個々のコース大学に関して情報不足	高い学費	言葉の壁に対する心配
日	28%	29%	31%	32%	45%	53%
英	31%	23%	31%	36%	42%	63%

共通の懸念点として言葉の壁・高い学費・情報不足



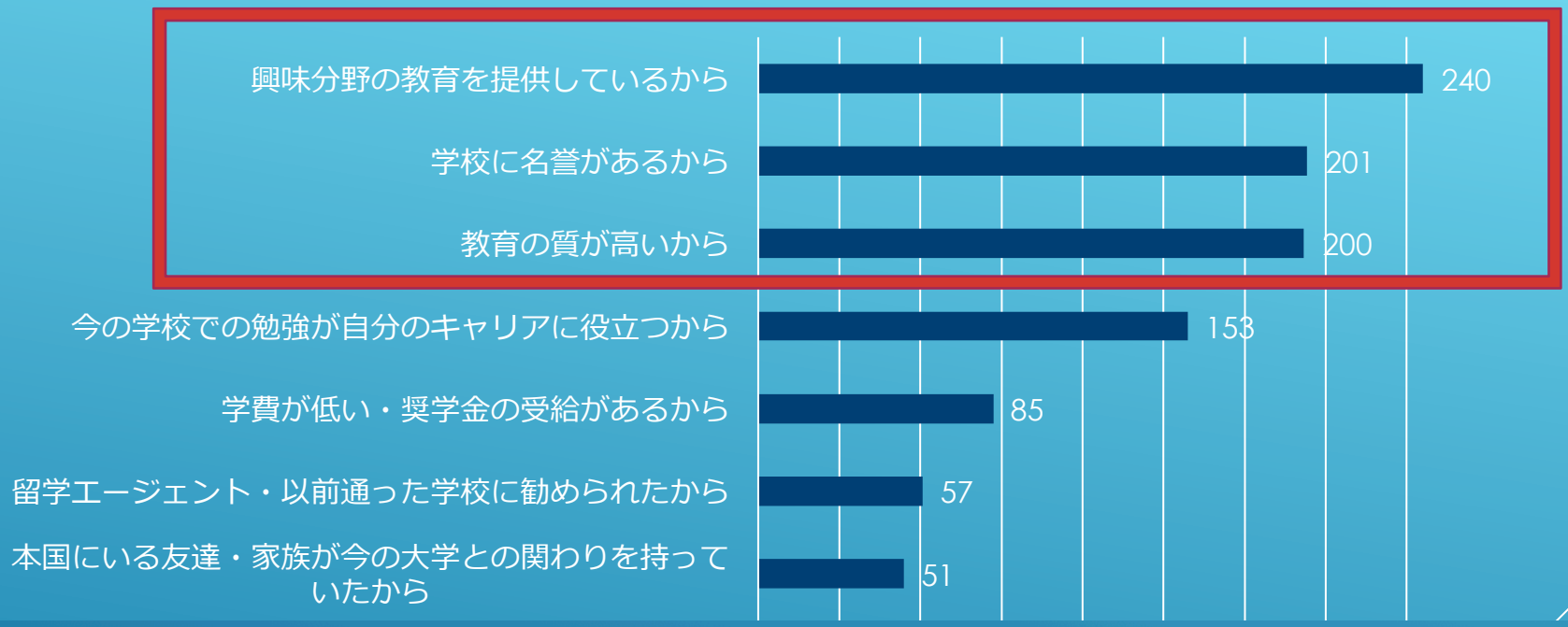
日本語で勉強している人の方が国際交流の機会を求める



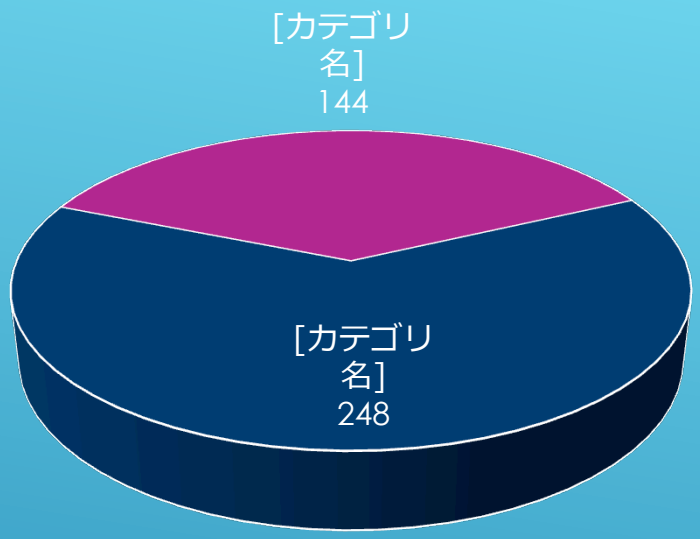
一方、英語で勉強している学生の方は教育の質に懸念

大学院

学校選択理由
n=392



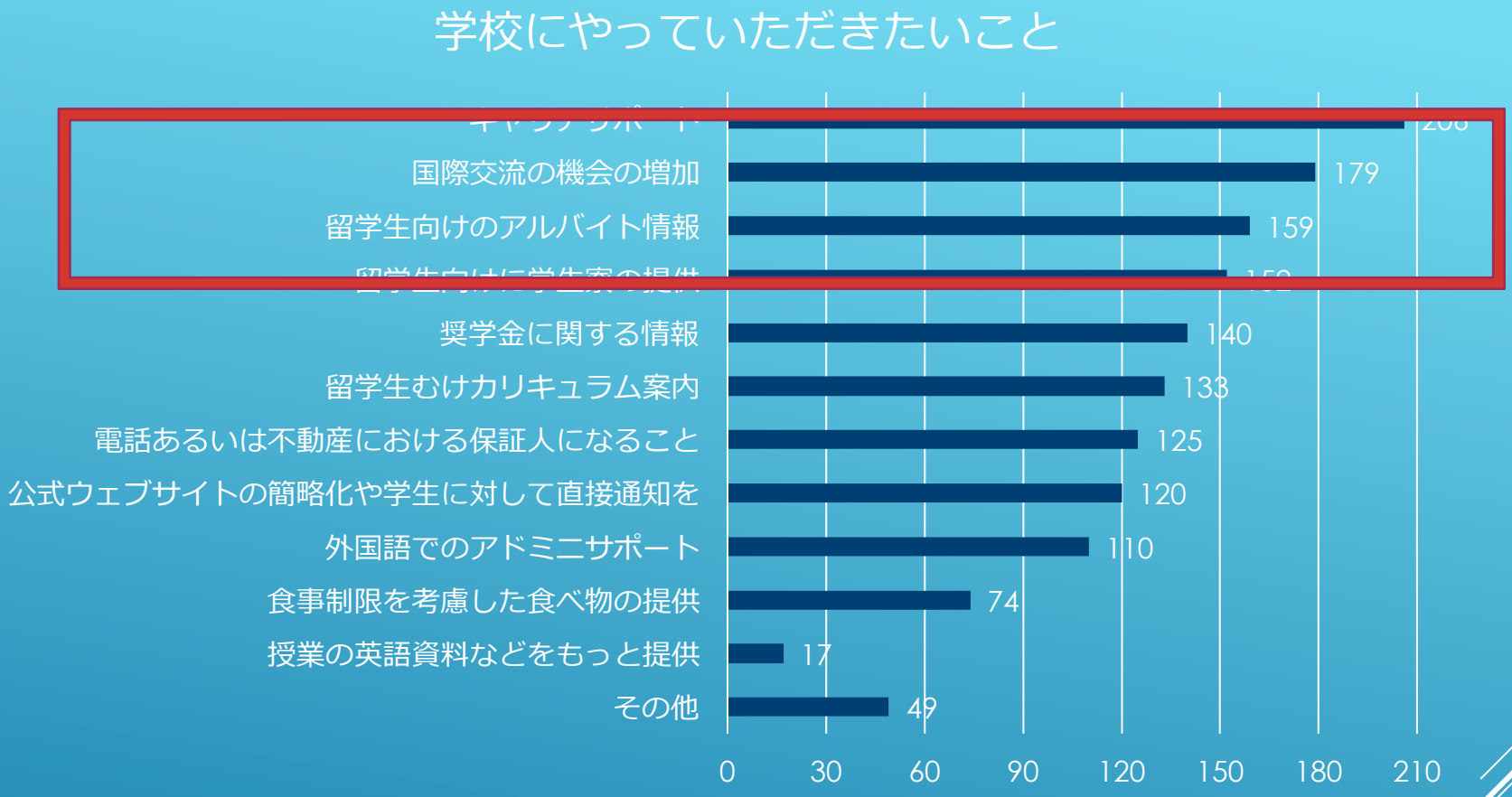
学部に比べて興味分野・教育の理由が強い



学業に問題に直面したか？

	理系（219人中）	文系（148人中）
1位	本国でのカリキュラムとの整合性が問題 60人	内容が理論にばかり走っている 48人
2位	クラスメートのモチベーションが低い 53人	クラスメートのモチベーションが低い 46人
3位	授業の教え方が合わない 52人	本国でのカリキュラムとの整合性が問題 34人
4位	内容が理論にばかり走っている 30人	内容が簡単すぎる 30人
5位	内容が簡単すぎる 28人	授業の教え方が合わない 22人

文系：教育の実用性が問題
理系：カリキュラム適合がハードル



研究室の外の活動の機会を提供して欲しい

交換留学生

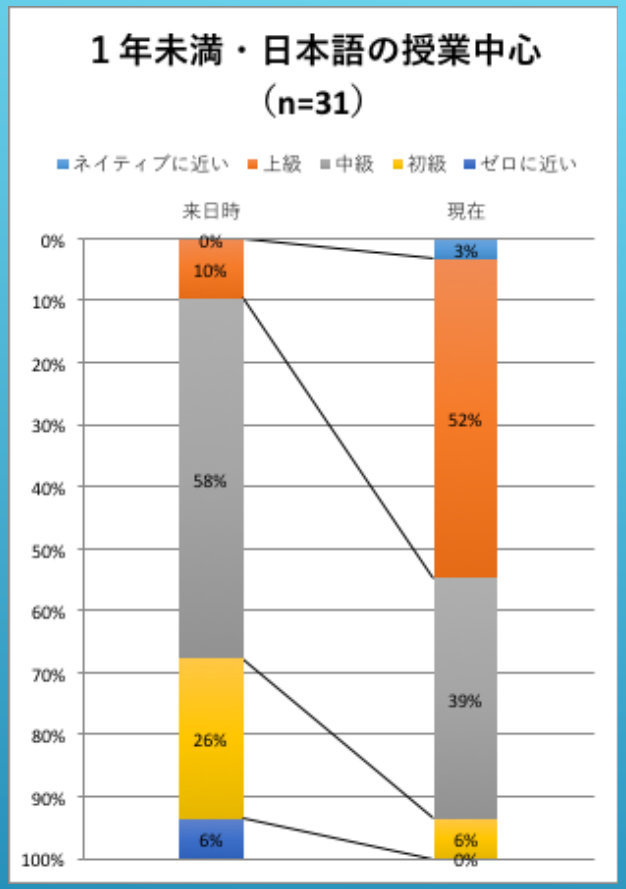
・学部交換→院で来日・日本で就職

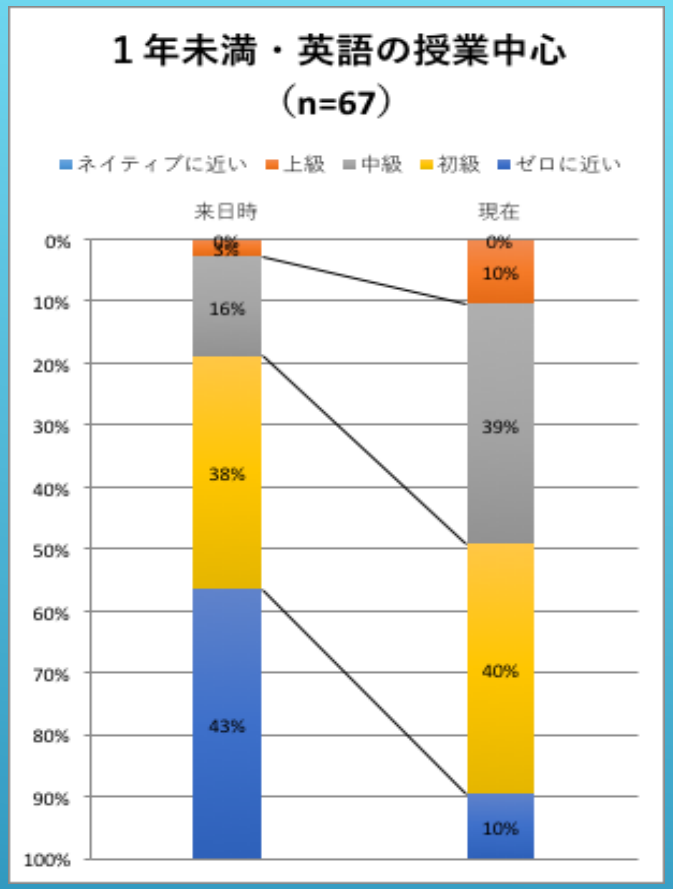
・現地での親日知日人材

・日本の大学の名声を高める役割

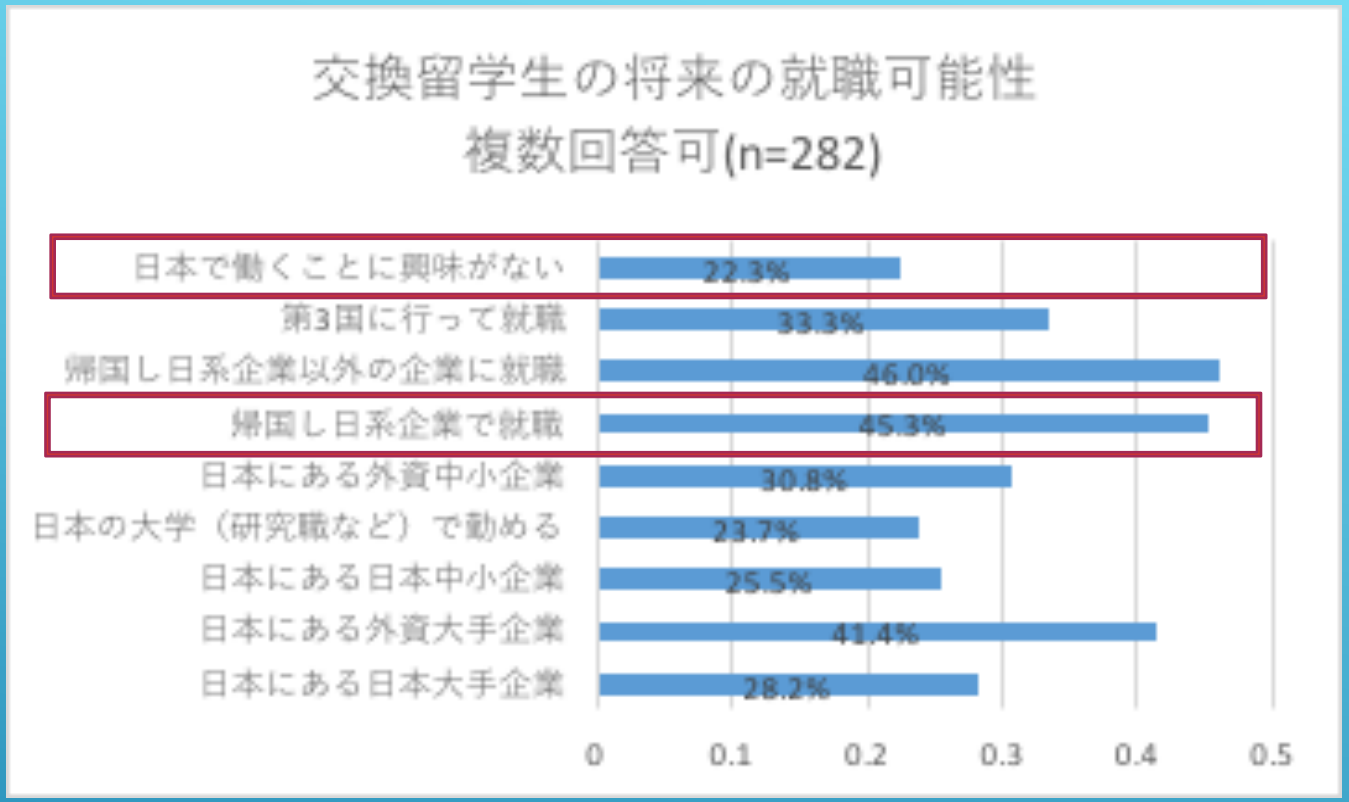
→現在では共通駅は最大限に引き出されているか？

そもそもなんで取り上げるか？


１年未満・日本語の授業中心
（n=31）
ネイティブに近い
上級
中級
初級
ゼロに近い
来日時
現在
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
0%
10%
58%
26%
6%
3%
52%
39%
6%
0%

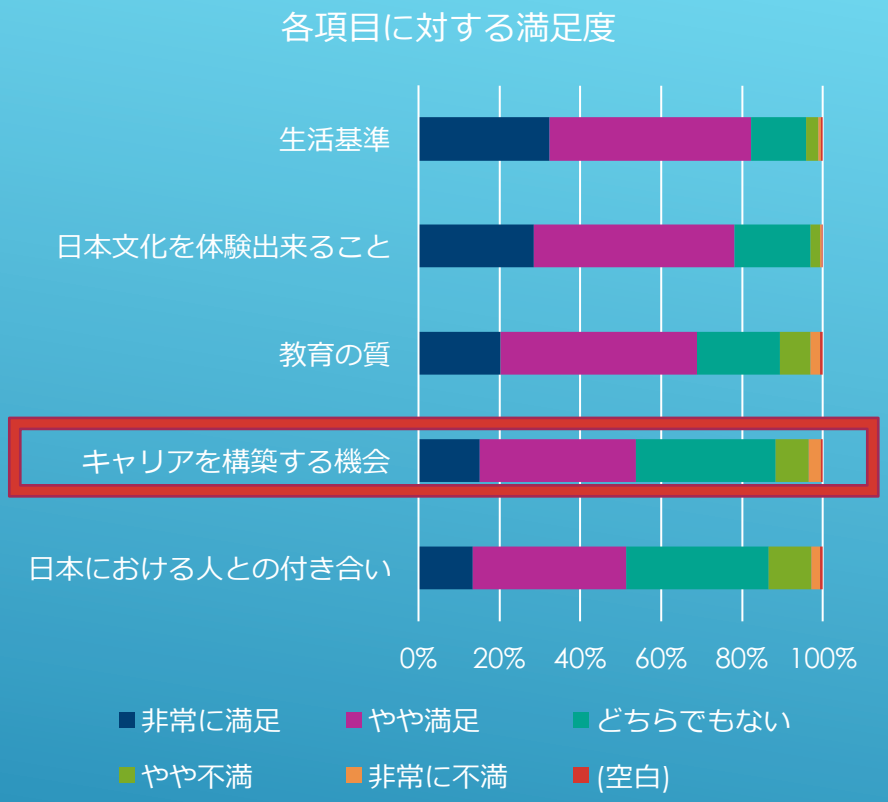

１年未満・英語の授業中心
（n=67）
ネイティブに近い
上級
中級
初級
ゼロに近い
来日時
現在
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
16%
38%
43%
0%
10%
39%
40%
10%

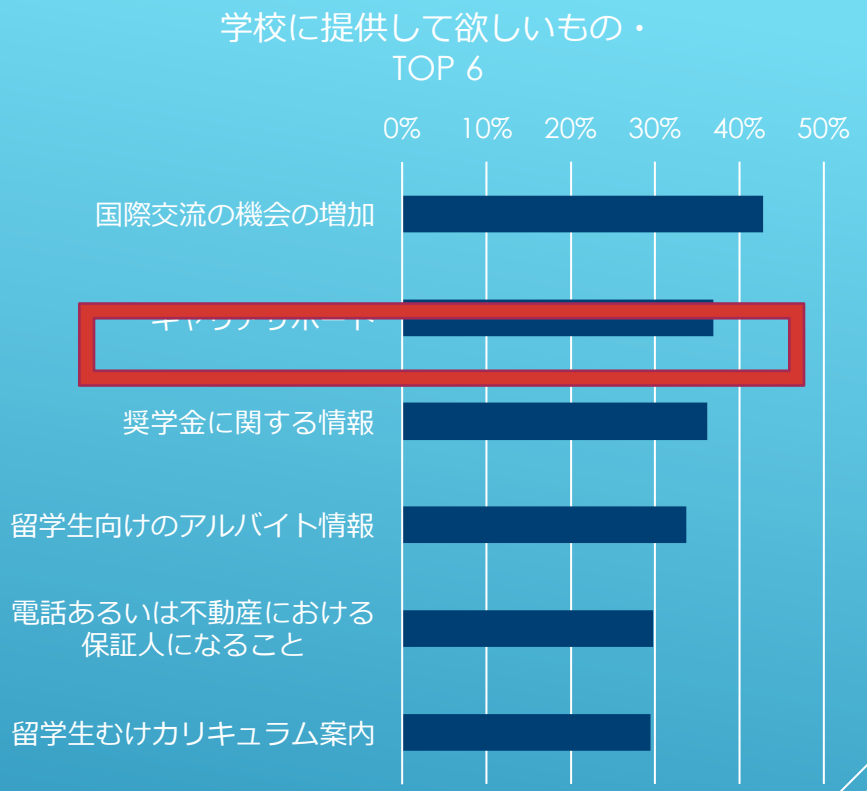
日本語はそこそこ上達



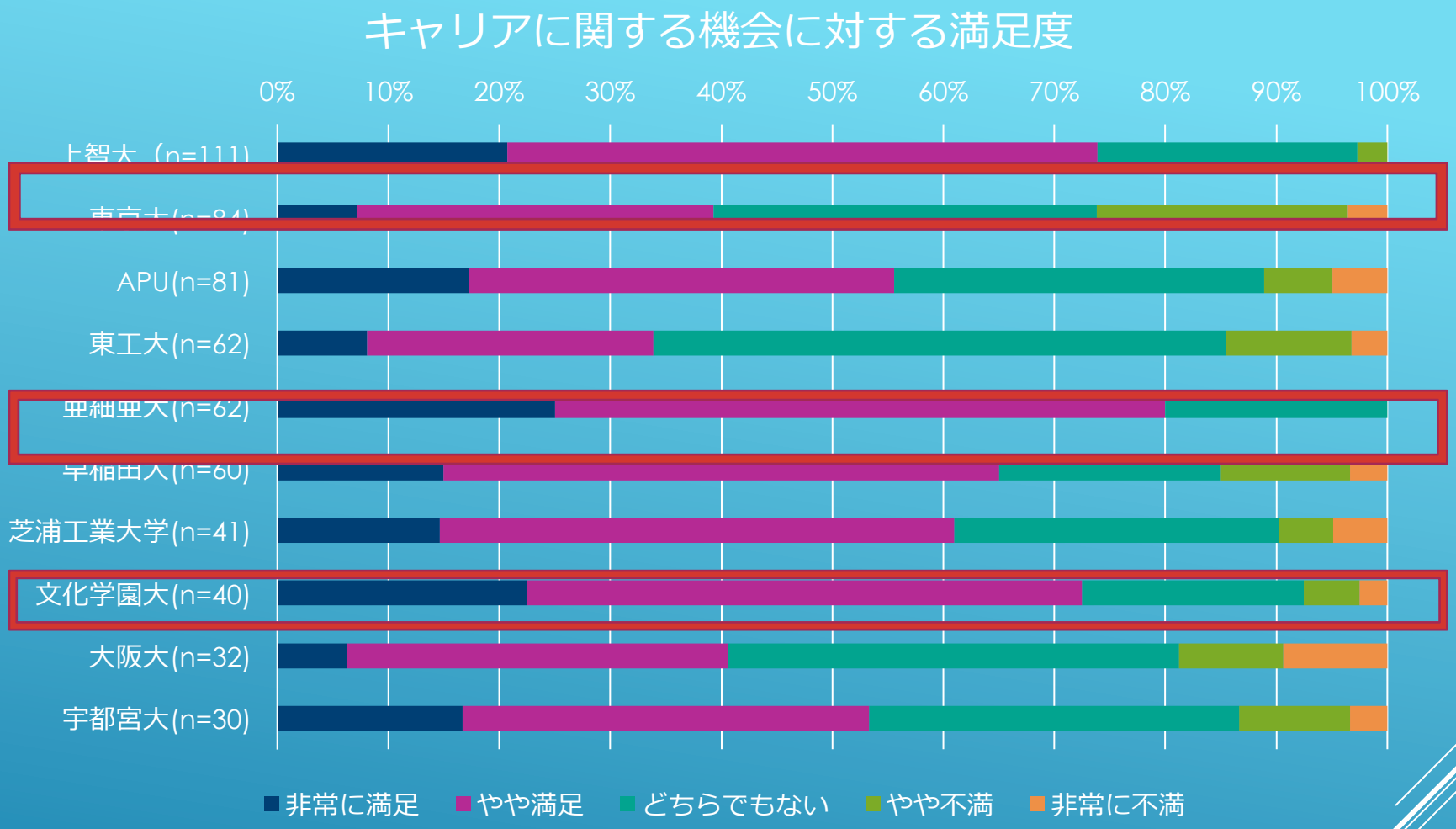
日本での就職・日経企業には興味がある

キャリア

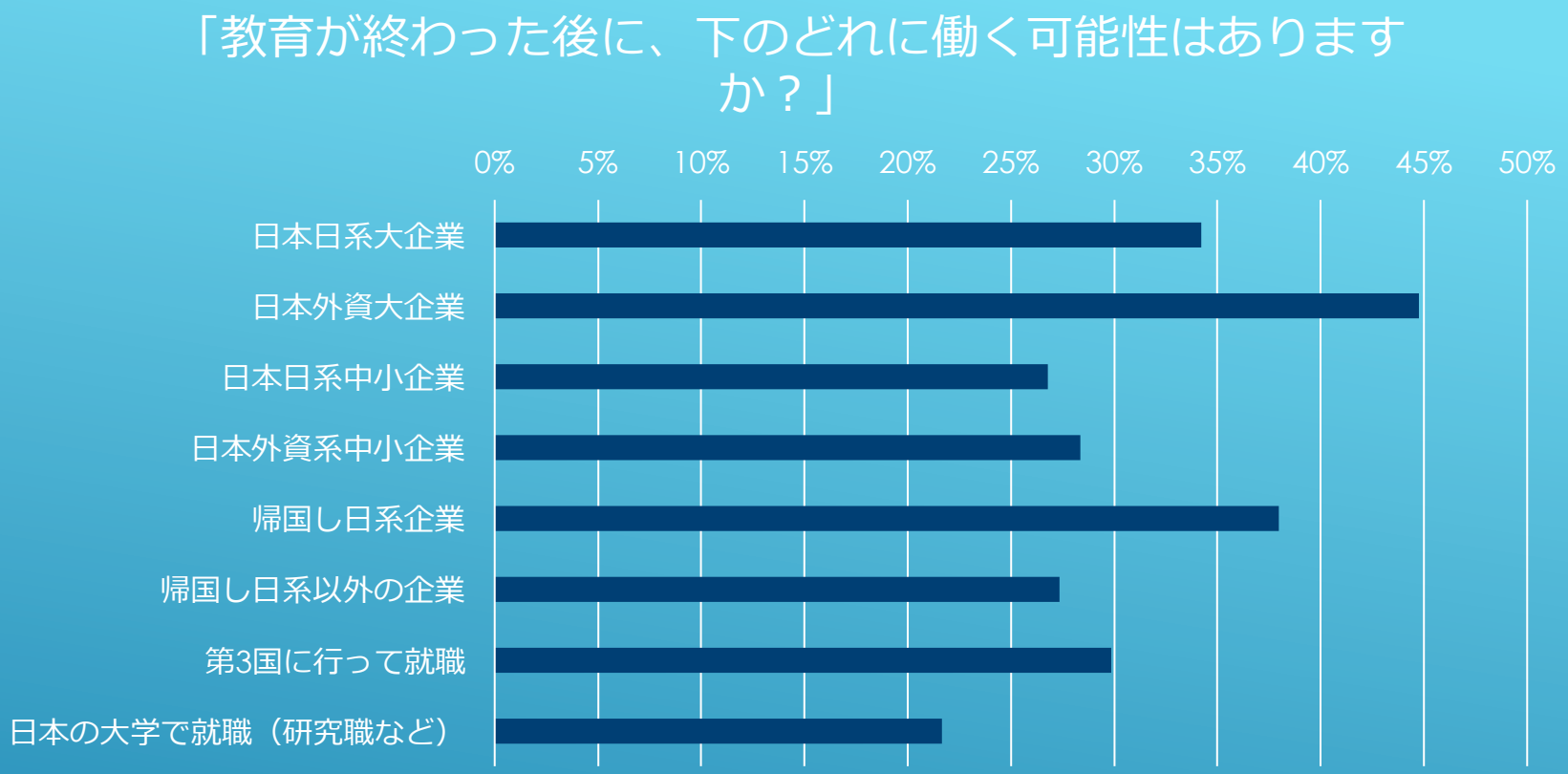




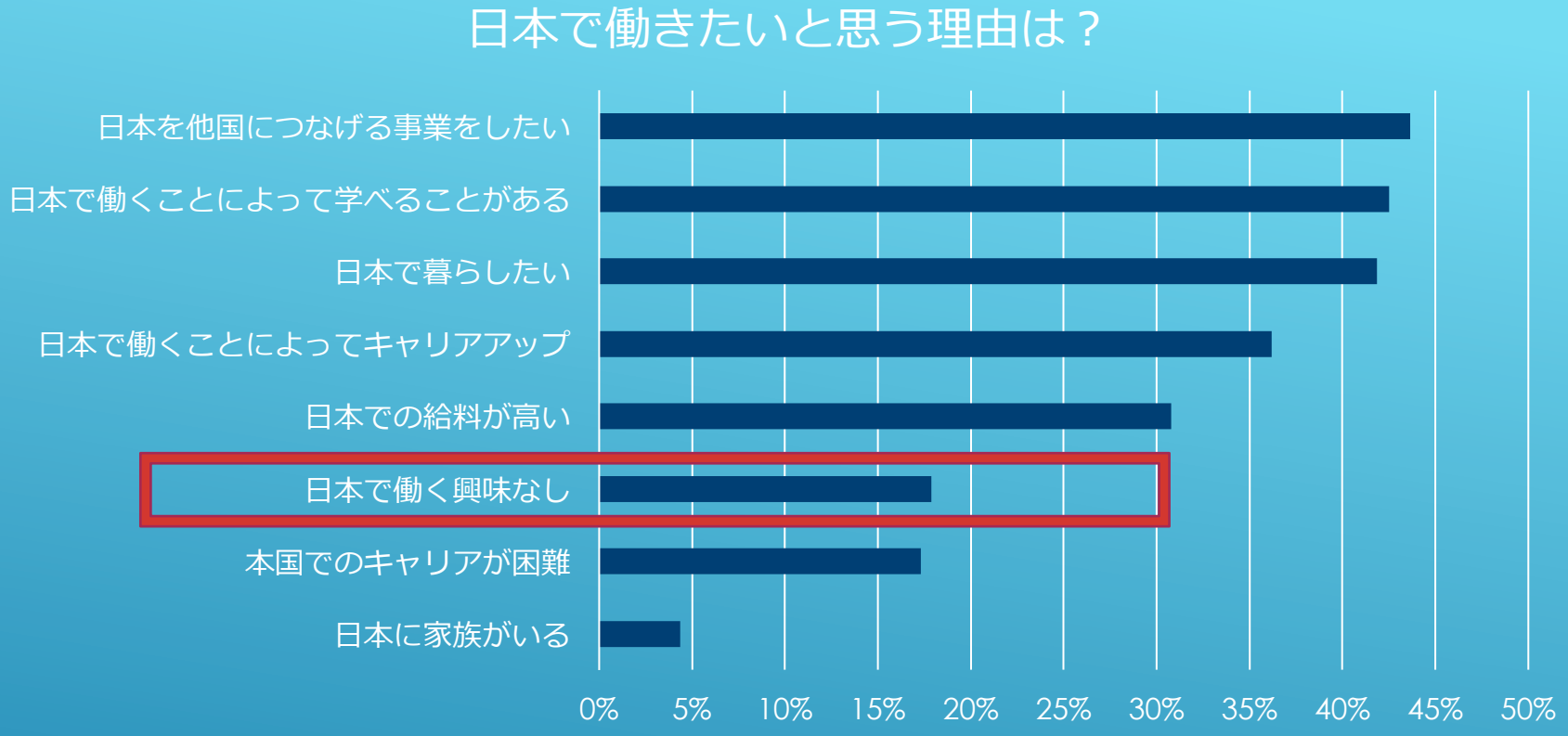
キャリアサポートの必要性は確認できている



大学によって成敗が大きく分かれる



外資系・大企業・帰国して日系企業で働く志向が確認できた



日本で働くことに興味がない人は少数。働こうとする理由は多岐にわたる

終わりに

紹介した内容は調査の一部に過ぎない

・文理の違い
・出身地域による差
・JAPI側が提案する改善策
などは本レポートの方にご覧あれ